

# 五島市ゼロカーボンシティフォーラム 開催要領

## ～持続可能な島づくりに向けて～

### 1 目的

五島市は地域の新たな産業や雇用の創出など地方創生につなげるため、貴重な地域資源である海を生かした海洋再生可能エネルギーを産学官民一体となって取組を進めています。

令和2年10月、菅前総理によって行われた2050年カーボンニュートラル宣言以降、事業活動に使用する電気を再生可能エネルギーに転換する動きが急速に広がっており、市内でも五島市再生可能エネルギー産業育成研究会が主体となり『五島版RE100』の取組みが進められてきました。『五島版RE100』とは、事業所等が使用する電力を「五島産」「CO<sub>2</sub>排出ゼロ」「再エネ100%」として供給することで電力の付加価値を高め、新たな産業振興につなげる取組です。

今後、さらに持続可能な社会の実現のため環境とエネルギーへの取組を進展させるべく、五島版RE100認定委員会と令和3年3月に洋上風車等の再エネが普及する五島市と環境問題と一緒に取り組むような協定を締結した損害保険ジャパン（株）から講師をお招きしてフォーラムを開催するとともに、玉夢桜の植樹を行います。

玉夢桜とは宮城農高科学部の生徒達が東日本大震災の復興の願いを込め育てた桜の新品種です。他の品種に比べて二酸化炭素吸収量が5倍程度多く、塩害にも強いということが実験でわかっており、気候変動への期待感も強い桜です。

本フォーラムと分科会を通じてカーボンニュートラルに関することや、磯焼け対策に向けた取組等についての理解を深めるとともに、地域の漁業者や市民、企業が積極的に脱炭素化に取り組む意義と現場での実践について意見交換を行い、機運醸成を図ることを目的とします。

### 2 開催概要

- (1) 日時：令和4年3月29日（火）14：00～17：00
- (2) 場所：福江文化会館3階展示室（五島市ゼロカーボンシティフォーラム）  
五島市勤労福祉センター3階軽運動場（五島市ブルーカーボン分科会）
- (3) 主催：五島市再生可能エネルギー推進協議会  
五島市ブルーカーボン促進協議会
- (4) 共催：五島市再生可能エネルギー産業育成研究会
- (5) 後援：損害保険ジャパン株式会社  
ヤフージャパン株式会社
- (6) 参集人員：70人（市民、漁業者、市内企業、学生、協議会及び研究会の会員等）

### 3 プログラム（五島市ゼロカーボンシティフォーラム）

福江文化会館3階展示室フォーラムメイン会場

- 13:30 開場
- 14:00 開会、五島市再生可能エネルギー推進協議会副会長挨拶
- 14:10 基調講演（40分）  
「気候変動対策と生物多様性保全：同時解決に向けて」  
講師：国立環境研究所 生物多様性領域  
領域長 山野 博哉
- 14:50 休憩（10分）
- 15:00 講演（30分） 「脱炭素化における商工会議所の取り組み」  
講師：福江商工会議所 会頭 清瀧 誠司
- 15:30 ディスカッション（30分）  
講師と参加者との質疑応答等
- 16:00 休憩、移動（30分）
- 16:30 玉夢桜の植樹式（30分）中央公園野球場
- 17:00 閉会

### 4 プログラム（五島市ブルーカーボン分科会）

五島市立勤労福祉センター3階軽運動場

- 15:00 開場
- 15:00 開会、五島市ブルーカーボン促進協議会長挨拶
- 15:05 講演1（10分） 「五島市ブルーカーボン促進協議会も取組について」  
講師：五島市産業振興部
- 15:15 講演2（30分） 「Jブルークレジットについて」  
講師：ジャパンプルーエコノミー研究組合  
理事長 桑江 朝比呂
- 15:45 講演3（30分） 「五島市の磯焼け対策について」  
講師：一般社団法人磯根研究所  
代表理事 吉村 拓  
講師：磯焼けバスターズ部会  
副会長 築脇 真市
- 16:15 休憩（10分）
- 16:25 植食性生物を活用した商品試食会（35分）  
「五島の醤について」  
講師：金沢鮮魚 代表 金澤 竜二（10分）  
「五島のフィッシュハムについて」  
講師：株式会社浜口水産  
専務取締役 濱口 貴幸（10分）  
試食会・・・15分
- 17:00 閉会

FAX送信 0959-74-1994

五島市再生可能エネルギー推進協議会 担当：山下・佐々野 行